

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年10月30日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	柴田町	代表者名	滝口 茂
担当者部署	柴田町図書館	連絡先電話番号	0224-86-3820
担当者役職		担当者氏名	
住所	989-1603 宮城県柴田町船岡西1丁目6-26		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザー自身が名取市図書館の建設構想に関わっているため、建設経緯を詳細に聞くことができ、さらに図書館職員等がどのように関わっていたか聞くことができた。また、各職員の問いに的確に回答を得ることができた。
アドバイザーへの要望事項	個々の職員がもっと自分の考えを述べられるように促してほしい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年10月24日	14時00分	17時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	名取市図書館		最寄駅	JR船岡駅
	所在地	名取市増田4丁目7-30			
	最寄駅からの交通手段	町マイクロバス(バス内で研修まとめ)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	17人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	図書館を運営していく上で、求められる図書館とはどのようなものか。幅広く住民を巻き込むためにはどのようにするか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	新図書館建設に係る職員の意識統一を図り、職員としての図書館建設に係る骨子を整える。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	前回のワークショップの結果を基に、交換日記のようなものを作成し、日々の職務の中で職員が感じる想いを加え、さらに定期的に読み返し想いを日々感じる体制とする。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	職員個々の新図書館への想いを共有できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	様々な意見や想いがあり、統一したものとはなっていない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 前回行った、ワークショップアンケートを利用している。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	新図書館建設に係る図書館職員が思う図書館の骨子を作成し、今後策定される建設計画の検討委員会等で求められる基礎的な計画を作成する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

